

第48回 関西一線展を終えて

関西支部長 市川 紘子

- 会期…平成30年8月7日(火)～12日(日)
- 会場…奈良県文化会館1階・A展示室
- 後援…奈良県、奈良市、ホルベイン工業株式会社、毎日新聞社奈良支局

今年の異常気象は各地で豪雨災害がありました。お見舞申し上げます。猛暑が続くなか、8月7日(火)から12日(日)までの6日間、奈良県文化会館において第48回「関西一線展」を開催いたしました。初日の搬入・陳列作業は、熱中症にならないようお互いに声を掛け合いながら無事展示できました。

本展出品予定の大作と小品部門で36名54点の作品を展示いたしました。初出品は3名で本展の小品部門で出品する予定と聞いて大いに活躍を期待しています。

今回、常総支部から和歌山に引っ越してこられた会員の田中知一様が関西支部展に出品されました。

猛暑の中、初日の午後3時から、経験豊かな親しい友人の大先輩のご丁寧なご指導、助言をいただき大変勉強になり皆さん大変感謝し、さらなる制作に意欲を頂きました。

今回も賞は、奈良県知事賞、奈良市長賞、関西一線賞、ホルベイン賞、毎日新聞奈良支局長賞の各1名、奨励賞2名になりました。各賞は厳正に審査され選出されました。受賞者の皆様おめでとうございます。

初日の展示会終了後には会場を変えて受賞式をし、懇親会をしました。猛暑の期間でしたが例年と同じように約900名近くの観覧者があり大盛況に終わりました。

会期中は多くの皆様方からの温かいご批評やご指導や励ましのお言葉をいただき感謝すると共に益々精進し頑張りたいと思いました。



第48回 関西一線展 2018. 8 (火)～12 (日)

第48回 関西一線展 2018. 8 (火)～12 (日)



第48回関西一線展 2018. 8. 7～12 奈良県文化会館

平成30年度 関西支部・春の写生会

関西支部 清岡 幸司

- 期 日…平成30年5月30日(水)～31日(木)
- 場 所…長野県伊那市と駒ヶ根市周辺

春恒例の写生会を5月30日から31日まで長野県伊那市と駒ヶ根市周辺で開催しました。支部会員17名、一絵会他9名の参加をえて早朝に奈良を出発。年に一度の大型バスを利用した遠出の写生会では人数が揃わないため、数年前から一絵会との共催としています。それでも39人乗りの大型バスでは二人席に一人が座るといふ茶々ツアーモード。

初日は伊那市中心部を流れる天竜川の支流の三峰川の周辺ではじめました。東には三キロメートルの冠雪した南アルプス、西には残雪が美しい宝剣岳を中心に中央アルプスの山並みがまぶしく感じる光景がひらけていました。南アルプスを源流とする三峰川の堤防には桜並木があり、田んぼでは田植えが始まり長閑な風景に浸りつつ、日焼けをものともせず描き続けました。

二日目は、駒ヶ根高原の駒が池周辺での写生です。そこは宿舎から徒歩10分程の絶好の写生スポットです。

昨日、遠景で眺めていた宝剣岳が手を伸ばすと届くような距離に見え、新緑の樹々、高度をますに連れてグラデーションが変わり、駒が池に映る残雪の宝剣岳や手前の五月の青葉の山々など描く前からわくわく感がいっぱいです。

今日は連日の好天のもと、木漏れ日のなかで、心ゆくまで描きました。

そして、昼には駒ヶ根名物のソースカツに舌鼓うちました。

夜は、二日間の成果を披露して清水先生から丁寧な講評とご指導を頂きました。

三日日も晴天が続き、近くの霊犬早太郎伝説が残る八百六十年開基の古刹で、昼までスケッチをし、たくさんの作品と学習成果とともに親交を深める楽しいスケッチ旅行となりました。



駒が池から中央アルプスを望む

平成30年度 関西支部・秋季スケッチ会

関西支部 井久保 そのの

- 期 日…平成30年11月3日(土曜・祝日)
- 場 所…奈良公園と興福寺周辺、なら町

11月3日秋晴れのもと、地元でありながらスケッチ会をして来なかったと言う事もあって、今回は奈良公園や興福寺周辺から、なら町を選びました。

興福寺の五重の塔を描くもよし、率川の地藏群を描くのもよし、ちょっと懐かしい路地裏や、なんということもないカーブミラーのある街角、普段はあたりまえすぎて、見落としていたり、見慣れている場所に思わぬ面白さ発見と言う感じで約束の3時には、完成あり未完成ありの作品を並べ、清水先生のあたたかい講評に一喜一憂しながら、なら町スケッチ会は終了となり、楽しい一日を過ごすことが出来ました。



秋季スケッチ会 奈良公園 2018. 11. 3 (土)